私学教育を守る父母懇談会
（東京父母懇）
編集発行人 後藤睦子
2022 年度. 7 月号
2022 年 7 月 15 日 発行

Tel03-3230-4091 Fax 03-3230-4090
E-mail:info@tokyo-fubokon.org ﾌﾞﾛｸﾞ：blog.tokyo-fubokon.org

父母懇だより

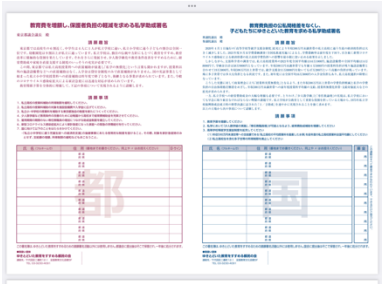
今年もスタートしました。いっしょに多くの署名を集めましょう！

昨年度、全国では 307 万筆、東京では 17.8 万筆を集めることができました、私学助成署名が始まりました。この署名は、請願署名という署名の種類の署名です。署名を集めることで、東京都議会と国会（衆議院・参議院）で必ずその請願項目がそれぞれの文教委員会等で必ず審議されます。ネット署名との違いは、都議会議員や国会議員に署名を通して働きかけることでき、来年度の東京都や国の教育予算に反映されることができると言うことです。

今年度の東京都への請願項目には昨年度と違う請願項目が入っています。その一つとして大きく取り上げているのは、昨年度で打ち切られた、国の私立小中学校に通う年収 400 万未満の世帯に対する直接補助を東京都独自に新たな制度としてつくってほしいという請願項目です。「3.私立小・中学校の授業料を補助する東京都独自の制度を新たにつくってください。」という項目です。請願趣旨に書かれているように、東京都の私立中学校には４人に一人、私立小学校に通う子どもの割合は全国一なのです。

もう一つの新たな請願事項は先生不足をなんとかしてほしいという請願項目です。

東京都の署名では「5.雇用期限のない専任教職員増加につながる助成金制度を確立してください。」という項目です。先生不足は私立だけではなく、公立も先生が足りない状況で、足りない分を長時間労働を強いられています。教員のなり手を増やす予算を東京都や国に求めて行くことが少人数学級を作っていくためにも大切な状況となっています。



もちろん、東京都の高校の６割近い私立高校に通う生徒は、高い入学金や施設設備費を保護者が多額の負担を強いられていることに対しても、直接補助の対象にするように求めています。署名が昨年度より多く集まるという実績は、それだけ議員へのアピール度も違います。公立小中や高校に通う世帯と同じ税金を私たちは国や地方公共団体に納めています。教育費の還元を公立と私立が同じだけ受けることはあたりまえの要求です。

署名を集めるのが大変という方へ。

昨年度、東京父母懇では５００筆以上署名を集めた方々が４名と一組いらっしゃいます。その方々がどのように署名を集められたか、順次紹介します。参考にして頂き、署名を一筆でも多く集めましょう。

私は東和会で私学助成担当の役員をしているので、「署名数 500 筆は集めよう」と、毎年の目標にしています。と言いつつ、最初はエンジンがなかなかかからず、10 月過ぎて本気を出す感じです。

署名をお願いする時は、気軽に「子どもが通う学校の PTA でやってるんだけどね…」「私立学校にも助成金を増やしてほしいっていう署名なんだ」と声をかけています。一筆箋に署名の趣旨や書き方の説明を手書きしたもの、自分の住所を書いて切手を貼った封筒を、ちょこっと準備しています。時間がないときはその場で署名をもらうより、「あとからゆっくり送って」と渡せると、家族の分も書いてもらえることがあります。もう 9 年も同じことを続けているので職場では「いつものヤツ、書いてね」で通じますが…。

署名用紙をまとめて郵送し、返信用封筒をつけて送り返してもらう方法もあります。遠くにいる義父母、市議会議員になった友人、消費者団体で働く知人などには、多めに送って協力してもらいました。この運動を通じて知り合った、愛知私学教育を進める会の F 先生とは署名仲間で、東京と愛知の署名交換も恒例になっています。気楽にお願いしてみるのが、まずはきっかけづくりの第一歩だと思います。

大東学園東和会・井上絵里子

団体交流

和光小学校

▼各クラスで親和会が順次行われています。
▼6月14日からプール指導がはじまりました。また各学年夏の合宿の準備もしています。今年は1-3年生は2泊3日、4-6年生は3泊4日での開催となります。
また秋のいちょうまつりにむけ、民舞の練習もはじまりました。子どもたちがだんだんと上達してゆく姿を見るのが楽しみです。

和光鶴川小学校

▼4月から順調に対面式で学級親和会が行われています。
▼ずべての学年で林間合宿が行われます。班で協力して、生活を共にし、それぞれ違う山に登ります。最高学年の６年生は日本百名山である瑞垣山登頂を目指します。

和光中学校

【学校生活】
▼６月28日生徒総会がありました。３年ぶりの体育館にて全校対面参加で行われ、活発に意見を交わしました。館山に向け、課題もありますが丁寧に取り組んでいます。館山班長選挙も行われました。選挙も無事に終わり班編成も終わりました。３年生は秋田の準備と館山の準備で忙しくしています。
▼7月11日からはプール実習が始まります。暑い日が続くので熱中症に気をつけて取り組んでほしいです。2年振りの館山復活に和光中学校が動き出し、子どもたちがどんな成長をみせるのか今から楽しみです。
　期末テストも終了し来週から二者・三者面談が行われ、館山合宿、夏休みとなります。
【親和会】
役員会第２回定例会がオンライン併用で開催されました。

和光高校

【学校生活】
▼コロナ共存の規制の多い生活から少しずつ緩和され、２年生３年生の選択授業では、大型木版画の勉強を兼ねて国際版画美術館での「彫刻刀が刻む戦後日本の版画運動」や東京都美術館での「スコットランド国立美術館THE GREATS 美の巨匠たち」の作品鑑賞を通して本物に触れる貴重な体験をしました。また、日本文学研究ではエッセイ集作成に向け海を感じに七里ヶ浜へのフィールドワーク、外国人と日本文化研究では新大久保にてインターナショナル事業者交流会に参加し、その地域と多文化が共生していく上での問題点などについて話し合いました。
▼６月18日(土)３年進路保護者会が開催されました。緊張の続く世界情勢、コロナや地震多発による不安な毎日の中で、将来の進路を考えなくてはならない子供たち、彼らにどのように見守り寄り添っていけば良いのか、進学の場合の受験の流れ、具体的な申し込み書類手続きなど詳しくお話が聞けました。
【親和会】
▼３年では上記進路保護者会の前後に親和会が開かれ、体育祭の様子と進路進学に関する詳細な説明がありました。
【私学部】
▼６月11日(土) 2022年度第1回和光高校私学部会が行われました。昨年と同様今年も「一家庭５０筆」の目標を掲げました。筆数よりも、この活動の意義を大切にし、また、「ゼロ筆家庭を無くそう」にも注力していく方針です。

大東学園

▼6月17日(金)　三者協議会事務局会議。三者交流会の振り返りと「三者の協同」を体験(第2弾)の三者懇談会に向けての各団体の取り組みの確認
▼6月20日(月)　署名推進協議会。私学助成拡充署名についての学習会。23区プロジェクト他の検討
▼6月25日(土)　役員会
▼6月26日(日)　関東ブロック父母懇交流集会参加
▼7月1日(金)　院内集会、全国スタート集会参加
▼7月2日(金)　午前：拡大役員会。午後①：担当者会議。午後②：サマーセミナー実行委員会。その他の集まり：父母懇担当者顔合わせ、全私研参加者につどい。私学助成担当者会議で署名用紙を全家庭＋真珠の会分の袋詰めを行う。
【学校関係】
▼期末テスト、三者面談（各家庭に私学助成署名の協力依頼を行い署名用紙を渡す）

明治学院高校

▼水泳大会実施

6月中旬に水泳大会を実施しました。例年は1年生と2年生がそれぞれ行っていますが、ここ2年間満足に実施できていなかったため、今年度は3年生の水泳大会も行われました。

プールと各教室を映像で結んで、生徒たちは教室のスクリーンを見ながらクラスの応援で盛り上がっていました。

▼PTA活動

6月には各学年・クラスのPTAがありました。また、教養福祉委員会主催の聖書の学び、広報委員会発行の教職員紹介パンフレットの発行がありました。

不登校を考える私学の会

▼在校中からも悩んでいたこと、疑問に思っていたこと、たくさんのお話がありました。なかなか解決できないこともたくさんあります。少しでもお役になれたら幸いです。

〇茶話会

・毎月１回土曜日（次回8月休み,9/17予定）

・午後２時から４時半（全国教育文化会館内）

（開催日・会場については下記にお問い合わせを）

連絡先：メールkonishi_m@dokkyo.ed.jp （獨協・小西）

鶴川こもれびの会

▼6月25日、こもれびの会総会・懇談会を開きました。参加者一人一人が子どもたちの状況を出し合いました。ＰＴＡが一方的に廃止され、コロナ禍で保護者が学校に行く機会も無い中、工夫をしながら今後も交流を進めて行きます。

▼今年4月から「ゼロ時間目」に希望者を対象とした、基礎学力向上の取り組み（漢検・英検・P検）と1年生対象の英語・数学のさかのぼり学習講座が始まりました。朝学習で「わかる楽しさ」に触れた生徒のエネルギーが教室に伝播し、その他の授業も活性化しています。教員や仲間と一緒に頑張っていく場が誕生しました。

▼Ａ先生の高裁勝利判決が確定しました！27年間一年契約を繰り返してきたＡ先生の解雇は無効であると闘ってきました。Ａ先生の主張が高裁でも認められ、学園側は上告を断念。今後、Ａ先生に未払い分の賃金と慰謝料が支払われ、学校にもどる交渉が始まります。これまで署名などのご協力ありがとうございました。今後もご支援をお願い致します。

今から40年ほど前に私の勤務校(駒込中高)で父母懇ができ、その後近隣の学校５校で「東部父母懇」を結成して東京父母懇に加盟しました。それ以来組合の役員の立場で父母懇活動や私学助成運動に係わってきましたが、私教連引退後、前会長の鈴木清丞さんから依頼を受け、父母懇役員となりました。早いものでそれから６年が経ち、若い世代へバトンタッチということもあって、今年の総会で役員を引退いたしました。

東京父母懇は来年３月に設立50周年を迎えます。50年の歴史は長く、運動の大切な経験が様々に含まれている年月だと思います。例えば設立の経緯も含め、東京父母懇は教員主導ではなく保護者が自立して活動をつくってきましたが、これは他県と比較して(愛知は別格ですが)東京の優れた点です。50年の活動から学び、引き継ぎながら、東京父母懇のこれからの運動を築いていってください。6年間ありがとうございました。 伊豆 明夫

第29回私学のつどい開催のおしらせ

コロナ禍で一昨年度は中止、昨年度はオンラインで行われた。東京父母懇と東京私教連共催の（東京）私学のつどいを今年度は11月13日に大東学園を会場に行う計画を立てています。この会は、署名の中間集約の場でもあり、また各学園の特色や私学の魅力を共有できるような文化祭でもあります。

現在、実施案を以下のように計画しています。

第29回私学のつどい（案）

（１） 日時・場所

・日程 11月13日（日）

・会場 大東学園 体育館、教室など

・形態 現地のみ

（２） プログラム

午前 全体会 10:00〜12:30

・私学助成署名集会

・講演会

・生徒舞台発表

・都議会議員挨拶

午後 13:30〜16:00

〇分科会

・青年部

・生徒会交流

・父母懇

他に教員や父母によるワークショップ

・生徒舞台発表

６月２６日（日）第４１回関東ブロック父母懇交流集会が行われました。

関東ブロックに所属する東京、埼玉、千葉、神奈川、茨城から１５０名以上の方がオンライン（神奈川では３カ所でサテライト会場に２０名以上の参加者）で参加しました。集会では全国私教連の山口委員長から挨拶と現在の私学助成運動に関する状況と今年度の運動の方向に関する話がありました。次に、外科医の本田宏氏の講演が現在の日本の医療制度が抱える問題点や教育の問題点がグローバルな国際比較などを通してありました。だじゃれ満載のユーモアあふれるお話に多くの感想が寄せられました。休憩を挟み、大学教授、高校生の保護者、大学生、私立小学校の教員、３名の高校生のリレートークが行われました。それぞれの立場からコロナ渦で孤立し経済的にも困っている大学生たちへの様々な支援を行っている大学の状況、コロナ渦で高校に入学した我が子の様子と親としての思い、オンライン授業が中心となっている大学の状況、コロナ渦で学校の行事を工夫して行う私立小学校の様子、愛知の高校生とのつながる中で今年度も高校生による署名活動を発展させる計画と意気込みについて発表がありました。

最後に参加者が８つのブレークアウトルームに別れて講演やリレートークの感想などを交流しました。とても内容が良かったなど多くの感想が寄せられました。

全国父母懇･すすめる会交流集会が 10 月に開催されます。

毎年 10 月に開催されてきました全国父母懇・すすめる会交流集会が３年ぶりに現地開催で行われることとなりました。場所は愛知県の西浦温泉にあるホテルを会場に行われます。

日程は 10 月 8 日 9 日で一泊二日の日程で行われます。もちろん 1 日だけの日帰り参加も大丈夫です。愛知県は全国の中で最も父母懇活動が活発に行われている県です。署名も 200 万近くの署名を集め、署名の紹介議員も与野党各会派から大勢の紹介議員になって、全国の父母懇を牽引する県です。高校生も愛知の高校生は何千人規模のフェスティバルを開催し、その影響力は全国の私立の高校生たちに広がってきました。日程等は下記のチラシの縮小版の通りです。分科会では全国の私立学校の方々と交流ができます。ぜひ、愛知に行ってその熱気に触れてみてください。

参加申し込みはそれぞれの学園の担当者にお願いします。